

令和2年度第1回東区地域公共交通会議（書面開催）

「東区生活交通改善プラン」における令和2年度の実施について
委員からのご意見及び事務局回答

	意見等	事務局回答
(1) 公共交通機関の連携強化	○継続的に調査協議が行われており着実な積み重ねを感じることが出来ます。	評価いただきありがとうございます。今後も継続して取り組んでいきます。
(2) 区内及び市中心部への移動に関する利便性の向上 ②地域の移動ニーズに対応した交通手段の検討	○データ分析を行ったことは方向性を検討する上で重要かつ有効であると考えられます。更に利用者へのアンケートと未利用者へのアンケートを行うことにより利用促進に向けての課題が明確になると思います。	公共交通の利用ニーズに関しては、平成28年度に実施した「東区の公共交通に関する実態調査」の結果を活用した分析を行うとともに、東区自治協議会とも連携し、区バスの利用促進に向けて取り組んでいきます。
(3) 自家用車から公共交通への転換の促進	○割引制度を広く広報、周知し「自動車に頼らない生活」の啓発に加え「バスを楽しむ生活」が加わることにより新たな利用者の開拓につながればと思います。	「バスを楽しむ生活」という視点は大変参考になります。利用者の目線に立った取組みを検討していきます。
	○「おでかけマップ」と「運行ガイド」をセットにしたのはすばらしいアイデアで、利用者にとって価値が高まると思います。	評価いただきありがとうございます。有効な活用を図っていきます。
その他東区の生活交通に関連すること	○東区の生活交通は更なる利便性の向上が求められます。路線バスとの重複区間をできる限り解消し、距離の長いルートは有効に分割するなどの対策が必要と思われます。それと、休日は普段利用者の多い病院なども休みとなるので休日ルートを設定し普段利用しない人々を取り込み、利用者数の底上げを図るなど柔軟な仕掛けがあってもいいのではと思います。 「交通環境に対する市民意識調査」では99.5%の区民に公共交通を利用する意向があると回答が寄せられています。普段の生活の中で年に数回でも利用の機会があれば、その先の利用促進に続いていく期待が持てるように思います。	ルートの分割や土休日ルート設定なども、利便性向上のための方策のひとつであると思います。今年度実施した「東区バス路線見直しに向けた現状分析業務委託」の結果を踏まえ、東区自治協議会とも連携し、見直しの必要性を含め方向性を検討していきます。